

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会 案件一覧

(令和7年12月3日開催分)

○所管事務報告 3件

部局	報告順	件 名	資料番号	説明者(所管課長名等)
企画経営部	1	大田区シティプロモーション推進事業の進捗(令和7年10月)等について	5	阿部 広聰広報課長
地域未来創造部	2	スポーツ健康都市宣言記念事業 「第42回大田区区民スポーツまつり」の実施結果について	6	大竹 スポーツ推進課長
産業経済部	3	大田観光協会の取組について	9	元木 商業・観光振興担当課長

大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和7年10月）等について

1 大田区シティプロモーション戦略アクションプランに基づく取組

施策		取組実績
施 策 1	「大田区の暮らし」の価値を高めるプランディング	<区内イベントの集約・発信> ・シティプロモーションサイトによる情報発信 26件 (季節イベント、都市景観大賞、お会式、ハロウィン、HICityイベント・ふれあいフェスタ・オープナクトリーなど)
施 策 2	「大田区の暮らし」の価値の発信	<暮らしの価値の発信> ・各種シティプロモーションSNSによる情報発信 X: 48件 インスタグラム: 20件 フェイスブック: 16件 (季節イベント、都市景観大賞、お会式、ハロウィン、HICityイベント・ふれあいフェスタ・銭湯イベントなど)
施 策 3	府内推進体制の強化	<府内シティプロモーションマインドの醸成> ・職員向け広報研修の開催 ・アンケートの実施
施 策 4	区民、区内事業者・関係団体等との連携等	<区内事業者との連携による発信> ・シティプロモーションサイトによる情報発信 14件 ・住宅情報ポータルサイト「SUUMO」による情報発信 ・東急車内ビジョン広告

2 参考情報

(1) サイトビュー数（月末時点）

「ユニークおおた」の閲覧状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
総ビュー数	26,258	31,331	31,940	33,199	42,019	22,241	43,884	-	-	-

(2) SNSのフォロワー数（月末時点）※（ ）内の数字は前月からの増減数

月 SNSアカウント名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
X (旧Twitter)	2,999	3,025 (26)	3,050 (25)	3,070 (20)	3,094 (24)	3,140 (46)	3,155 (15)	3,207 (52)	-	-	-		
Instagram	1,577	1,615 (38)	1,628 (13)	1,656 (28)	1,666 (10)	1,677 (11)	1,679 (2)	1,696 (17)	-	-	-		
Facebook	836	842 (6)	847 (5)	852 (5)	855 (3)	872 (17)	872 (0)	888 (16)	-	-	-		

主な取組

区内イベントの集約・発信

施策 1

関係所管と連携のうえ、シティプロモーションサイトや SNS を通じて子育て世帯の方が地域のイベント情報等を入手しやすいうようにまとめて発信。また、季節性があるイベントを中心に発信することで関心をもってもらい参加促進を図った。



暮らしの価値の発信

施策 2

区で暮らす魅力を効果的に発信するため、SNS やシティプロモーションサイト等において、イベント情報や地域資源を紹介する動画や投稿の発信を行った。主な内容については、以下のとおり。

○企画展「海苔づくりの伝統と手わざを伝える人々 - 協力者会とはまどの会 -」【動画】

区ならではの歴史・文化に触れることができるイベントを現地の様子とともに紹介する動画を制作。

○銭湯の日 【動画】

区内浴場と連携して、銭湯文化の魅力とともに親子で参加できるイベントを発信する動画を制作。

○OTA ふれあいフェスタ 2025 【動画】

区内最大級のイベントと合わせて実施したカプセルトイの販促動画を事前に発信することで、子育て世帯のイベントへの参加促進と区のシティプロモーションの取組みをアピールした。

○その他

注目度が高いイベントとして池上本門寺「お会式」、羽田イノベーションシティ「ハネダ夜街」、関心が高い投稿として洗足池の都市景観大賞や公園に関する投稿を行った。



【文化イベント】 【防災週間イベント】 【銭湯の日】
(表示回数 581) (表示回数 1,285) (表示回数 4,893)



【池上本門寺 お会式】 【洗足池 都市景観大賞】
(表示回数 21,087) (表示回数 4,600)



【公園】
(表示回数 5,212)

【HICity イベント】
(表示回数 3,878)

庁内シティプロモーションマインドの醸成

施策 3

広報専門人材の助言に基づき SNS 運用を改善したところ、主要指標である表示回数は 119,842、平均エンゲージメント率は 6.7%といずれも過去最高となり、X のフォロワー増加数も今年度最多となった。今後も分析・改善を継続し、効果的な発信につなげていく。

また、10月 29 日に職員向け広報研修を開催し、広報マインドの醸成や SNS の効果的な発信方法、チラシの作成などの実務研修を実施した。アンケート結果から、参加者全員の研修内容の理解度は高かったものの、広報媒体の活用状況に課題があり、今後周知方法・活用促進を一層強化していく。また、アンケートで寄せられた要望を踏まえ、研修内容の企画や今後の運営に活かしていく。



区民、区内事業者・関係団体等との連携による発信

施策 2

施策 4

週末のおでかけ先や施設の魅力、子育てに関する取組みなど、区内の子育て環境の充実さを広く発信するために、子どもの居場所としての児童館を紹介する記事を 2 本制作した。

また、事業者と連携して、区内で暮らす魅力やシティプロモーションの取組み、展望などを紹介する記事、動画を制作し、事業者のウェブサイト内で発信した。

特集記事

○行ってみよう！赤ちゃん連れで楽しむ大田区の児童館

【公開日】令和 7 年 10 月 3 日 【閲覧数】1,533

○小中学生のための楽しい居場所！ 大田区の児童館

【公開日】令和 7 年 10 月 24 日 【閲覧数】1,691



住宅情報ポータルサイト「SUUMO」による情報発信

区の魅力を知ってもらうため、まちづくり、子育て環境、将来展望などについて、区長及び職員の視点から魅力を伝えるコンテンツを制作。主に南六郷エリアの魅力を中心に子育て・教育の強み、歴史文化、レジヤーの魅力などを紹介。

動画インタビュー | 大田区長・職員の皆さんに伺う | 大田区の魅力

ANESIA

スペシャルインタビュー | 大田区長の考え方 | 大田区の魅力、これからどのようにしていく?

TOKYO GATE WING

スペシャルムービー | 3 本公開中 | 大田区長・職員の皆さんに伺う | 大田区で暮らす魅力

1 スペシャルインタビュー | 大田区長の考え方 | 大田区の魅力、これからどのようにしていく?

2 職員の皆さんに伺う | 嬉らすから、大田区の魅力、子育て・教育環境について

3 職員の皆さんに伺う | まちの生きがいやらしさでの暮らし、六郷地区の特徴

スポーツ健康都市宣言記念事業 「第42回大田区区民スポーツまつり」の実施結果について

1 目的

区民の間に広くスポーツへの関心と理解を深め、様々なスポーツ種目に親しむ機会を創出する。子どもから高齢者まで参加できるプログラムを提供し、健康・体力づくり、生きがいづくりを図るとともに、区民相互の交流の契機とする。

2 実施状況

(1) 日 程

令和7年10月13日（月・祝）前後2週間

(2) 会 場

大田区総合体育館、大森スポーツセンター、田園調布せせらぎ館、大森ふるさとの浜辺公園ほか（全39会場）

(3) 来場者数

12,181人（ウォーキングイベント含む）

3 当日の様子



桃田賢斗選手による
バドミントンクリニック



ボルダリング体験会

4 参加者へのアンケート

※回答数：323枚

(1) 区民スポーツまつりに参加したことで、これまで以上にスポーツに取組みたいと思いましたか。

→「すでに日常的にスポーツしている」が58.2%、「スポーツはしていなかつたが、このイベントを通じ今後も継続してスポーツに取り組みたい」が34.3%となり、スポーツに継続的に取組む意欲のある人の割合は92.5%となつた。

(2) 区民スポーツまつりに参加してどのような効果がありましたか。

（複数回答可）

→「楽しくて気分が爽快になった」(29.6%)、「健康増進につながった」(23.5%)、

「運動不足の解消につながった」(13.0%)など、心身の健康につながる効果についての回答が多数を占めた。

また、「家族や友人とのふれあいの場になった」(12.8%)などの回答もあった。

5 参加者アンケート自由意見 (抜粋)

- (1) 運動する、健康状態を知るきっかけになるので、これからも続けてほしいと思います。
- (2) すべてやってみたいものばかりで楽しいですし、ありがたいイベントです。去年初めて参加して感動しました。
- (3) 毎年参加していて、年に一度家族で楽しい時間になっています。
- (4) 桃田さんのトークショー聞けて感動です。いつも素敵なゲスト楽しみです。

6 実施団体からの意見・感想 (抜粋)

- (1) まつりで楽しさを体感して、弓道教室へ参加する方も多く見られる。(和弓での的当て)
- (2) こどもたちがスポーツに取り組むきっかけになる、意義のあるイベントだと思う。(スポーツいろいろ体験ツアー)
- (3) 地域の皆様と交流できる、とても良いイベントだと思う。(姿勢ウォーキング)

7 秋のウォーキングイベント

(1) 日時

令和7年10月26日(日)午前9時から正午まで(天候:小雨)

(2) コース

本蒲田公園～多摩川河川敷～十寄神社～新田神社～矢口せせらぎ公園
(約7.5km)

(3) 参加者数

168人

(4) 当日の様子



ゴールの様子(矢口せせらぎ公園)

(5) 参加者の感想

「雨でしたが、楽しく歩くことができました。また参加したいです。」、「雨が降っていたので最初はためらいましたが、歩いてよかったです。」、「歩きやすく、見どころの多いコースでよかったです。」などの感想があった。

8 まとめ

- (1) 昨年より全体の参加者数はやや減少したものの、各会場で区民スポーツまつりに多くの方に参加していただいた。継続的なスポーツ実施のため、引き続き本事業を実施し、気軽にスポーツに親しめる機会の創出を図っていく。
- (2) 改修工事のため、2年ぶりに大田区総合体育館をメイン会場とし、開会セレモニーの参加者が前年と比べ 200 人以上増加した。会場の変更及び参加者が増加する中、大田区スポーツ協会と連携し、適切な人員配置により大きな混乱なく終えることができた。
- (3) ウォーキングイベントは、小雨にもかかわらず 168 人の参加があり、90 代の方も参加するなど、幅広い年齢層の参加があった。当日は、コース上の各ポイントにスポーツ推進委員が立ち、参加者の体調確認やコース誘導などを行った。
取り組みやすいスポーツであるウォーキングを通じて、引き続き、身体を動かす楽しさを体験する機会の創出を図っていく。

大田観光協会の取組について

1 丸子の渡し祭り（実施報告）

（1）事業目的

大田区、川崎市の貴重な自然・景観・文化歴史資産である多摩川のかつての渡し場の一つ「丸子の渡し」を広く住民をはじめ内外に知ってもらうため、渡し舟の体験を提供するとともに、両エリアの魅力もPRする。

（2）実施日時 令和7年10月13日（月・祝）午前10時30分から午後3時30分まで

（3）会場 多摩川丸子橋緑地（川崎市側は丸子橋第一広場）

（4）実施内容（大田区側）

ア 渡し舟乗船体験

片道乗船料 中学生以上500円／小学生300円

未就学児無料（保護者同伴必須 3歳未満乗船不可）

イ 大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」グッズ販売、観光PR

ウ 多摩川ミニ水族館（うのき水辺の楽校）

エ 食品ロスquiz（大田区環境公社）

オ 多摩川クイズ、丸子の渡し祭り動画上映（大田区カヌー協会）

カ バルーンアート

（5）乗船者数（大田区側） 約400名

（6）実施団体

主催 丸子の渡し復活協議会

後援 国土交通省京浜河川事務所、川崎市、大田区

協力 川崎市観光協会、大田観光協会、丸子多摩川観光協会、武藏中原観光協会他



渡し舟乗船体験

会場風景

（次頁あり）

2 主な出展状況・出展予定（令和7年9月～12月）

（1） OTA ふれあいフェスタ

ア 実施日時

令和7年11月1日(土)、2日(日) 午前10時から午後4時まで

イ 内容

- ・大田区公式PRキャラクター「はねびょん」グッズ販売
- ・観光パンフレットの配布

ウ 出展会場

大森ふるさとの浜辺公園



出展ブース



区内コーヒー店とコラボした新商品



ゆるキャラ集合

（2） 蒲田東口フェスタ 2025

ア 実施日時

令和7年11月3日(月・祝) 正午から午後4時30分まで

イ 内容

- ・観光パンフレットの配布
- ・蒲田クイズ 参加者217名

ウ 会場

JR蒲田東口駅前通り

エ 主催

蒲田東口商店街商業協同組合



蒲田クイズ



出展ブース

（3） 東京メガイルミ

ア 実施日時

令和7年12月6日(土)、7日(日) 午後4時30分から午後9時まで

イ 会場

大井競馬場

ウ 主催

東京メガイルミ運営事務局

（4） 伊豆高原学園 リニューアルオープン10周年記念「感謝祭」

ア 実施日時

令和7年12月14日(日) 午前10時30分から午後3時まで

イ 会場

大田区立伊豆高原学園